

<p>公益財団法人 8020 推進財団 平成 29 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：障がい者歯科受診支援事業</p>
<p>2. 申請者名：一般社団法人 市川市歯科医師会 会長 石井 広志</p>
<p>3. 実施組織：一般社団法人 市川市歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要 「障害を持っている人が遅滞なく歯科治療を受けられるようにして欲しい」と市民からの訴えがあった。上記事項達成のため、3つの柱で事業を展開し障害のある人、家族のお口の健康、全身の健康に寄与する事を目的とし、事業の展開を予定している。</p>
<p>5. 事業の内容</p> <p>① 市民団体との連携 以前より連携のとれている「市川市手をつなぐ親の会（知的障害児親の会）」で昨年も開催した「歯科勉強会」を本年度も開催し、障害者の家族の知識向上をはかる。</p> <p>② 歯科医師会会員への講習会 一般歯科診療所でより多くの障がい者の方を診療してもらうために講習会を行い受け入れ態勢を整える。</p> <p>③ 地域の障がい者担当会議の開催 障がい者の「歯科受診の重要性」や「歯科受診の利便性」をはかるために地域で関係する歯科医師会、行政、保健センター、学校関係者などで会議を開き、業種の垣根を作らない関係を構築する。</p>
<p>6. 実施後の評価（今後の課題）</p> <p>①今年度も以前から連携がとれている「市川市手をつなぐ親の会」の医療プロジェクトに参加し、障がいをもつ子供の家族から直接意見を聞くことができた。また、行政を始めとした多くの障がい者に関わる方にご参加いただくことができ、更に地域の団体との関係がとれた。</p> <p>②千葉県歯科医師会障がい福祉保健委員会の小宮あゆみ先生と鈴木 真子先生にご登壇いただき、「障がい者歯科治療の実際と取り組み」と題して歯科関係者にむけての講習会を開催した。36名の参加があり、本事業に対する関心の高さをうかがえた。</p> <p>③市川市内には多くの方が障がい者に関わりを持っている。特に今までに関係を取れていなかった、行政の関係者、障がい者施設の関係者と連携が取れたことは大きな成果であったと思う。また、会議の議題として「摂食・嚥下」を取り入れた事で多くの関係者から評価をしていただいた。</p>